

北海道新ひだか町
みついし昆布温泉 蔵三
温泉棟

電球色にこだわって
木の温かみを出すことで
上質な蔵の雰囲気を出しました。

当施設は「蔵三」という名称の通り、お施主様からは上質な蔵の雰囲気を出したいとの要望がありました。そこで照明も全体的に電球色にこだわって木の温かみを出すことで、落ち着きのある上品な空間づくりに成功しました。

食堂は家具類も中国から取り寄せ、高級感を出しています。照明はベースのダウンライトのほか、食事をおいしくみせるために食卓の上にライティングレールを引き、ハロゲンスポットライトを設置しました。

浴室に関しては設計当初よりも高い照度が必要になったため、台数を増やして対応しました。また磯舟をイメージした展望露天風呂は、投光器により、浴槽が浮かび上がるような感じを出しています。

工期が1~6月だったため、やはり雪の季節は苦労しましたね。



施工担当者：
(株)新興電気 静内支店 工事課 主任
高田 義治さん



電球色のブラケットで 温かみを演出

電球色を使用して温かみを演出するとともに、
洗い場を中心に設置することで手元の明るさを
確保しました。



■施工物件 みついし昆布温泉 蔵三 温泉棟
■施設の概要
所 在 地：日高郡新ひだか町三石農舞162
延 床 面 積：1,857.5m²
構 造・規 模：RC造・地下1階地上1階
施工／電気：(株)新興電気
竣 工：平成18年7月





ベース照明には ユーライン3ダウンライトを使用

天井高さがあるので2灯用を使用して照度を取りつつ、コンパクト
形蛍光ランプの使用で省エネにも配慮しました。



お施主様からひとこと

“自然にそこに存在する”という、
とてもいい照明環境を創って
いただきました。



テーブル上の料理を 引き立てるスポットライト

ハロゲンランプにより料理を引き立てます。



舟形の浴槽を 浮かび上がらせる投光器

浴槽側面に光を当てることで舟の形を
際立たせます。



東芝ライテック(株)からワンポイントアドバイス!

公衆浴場で重要な 3つの秘訣

- know-how ①**まぶしさを軽減
間接照明などを多用し、直接目に入る光をなくす
- know-how ②**安全性の確保
樹脂グローブなど割れにくい器具の採用
- know-how ③**光色にこだわりを
リラックス空間をめざすなら電球色をセレクト

公衆浴場には こんな器具もおすすめです



公衆浴場用器具

光源にメロウホワイト20W形
を使用したタイプです。グロ
ーブには飛散しにくいガラス
を使用しています。



公衆浴場用器具

光源にネオボールZD形15W
形を使用したタイプです。樹
脂グローブを採用しています。